

知との出会い

※ 関西外大厚生北館3F 丸善書店では購入不可

<社会・歴史>

- 1 『紙の本は、滅びない』 福嶋聡 (ポプラ社) ¥842
- 2 『「若作りうつ」社会』 熊代亨 (講談社) ¥821
- 3 『自己愛な人たち』 春日武彦 (講談社) ¥799
- 4 『浄土真宗はなぜ日本でいちばん多いのか: 仏教宗派の謎』 島田裕巳 (幻冬舎) ¥821
- 5 『尼さんはつらいよ』 勝本華蓮 (新潮社) ¥756※
- 6 『二世兵士激戦の記録 : 日系アメリカ人の第二次大戦』 柳田由紀子 (新潮社) ¥799
- 7 『国境の日本史』 武光誠 (文藝春秋) ¥832
- 8 『男の嫉妬 : 武士道の論理と心理』 山本博文 (筑摩書房) ¥756※
- 9 『残留日本兵 : アジアに生きた一万人の戦後』 林英一 (中央公論新社) ¥929
- 10 『戦争のなかの京都』 中西宏次 (岩波書店) ¥455※
- 11 『「満洲」の歴史』 小林英夫 (講談社) ¥907
- 12 『明治の女子留学生 : 最初に海を渡った五人の少女』 寺沢龍 (平凡社) ¥864※
- 13 『田中角栄 : 戦後日本の悲しき自画像』 早野透 (中央公論新社) ¥1,015
- 14 『モーツァルトを「造った」男 : ケッヘルと同時代のウィーン』 小宮正安 (講談社) ¥821
- 15 『消されゆくチベット』 渡辺一枝 (集英社) ¥821
- 16 『ふしぎなイギリス』 笠原敏彦 (講談社) ¥972
- 17 『ナショナリズムは悪なのか : 新・現代思想講義』 萱野稔人 (NHK 出版) ¥799
- 18 『「反日」中国の真実』 加藤隆則 (講談社) ¥864
- 19 『生き方の不平等 : お互いさまの社会に向けて』 白波瀬佐和子 (岩波書店) ¥864
- 20 『ヘイト・スピーチとは何か』 師岡康子 (岩波書店) ¥842
- 21 『アジア反日と親日の正体』 酒井亨 (イースト・プレス) ¥994
- 22 『希望難民ご一行様 : ピースポートと「承認の共同体」幻想』 古市憲寿 (光文社) ¥929
- 23 『平和主義とは何か : 政治哲学で考える戦争と平和』 松元雅和 (中央公論新社) ¥886
- 24 『絶望の裁判所』 瀬木比呂志 (講談社) ¥821
- 25 『ニッポンの裁判』 瀬木比呂志 (講談社) ¥907
- 26 『大人のひきこもり : 本当は「外に出る理由」を探している人たち』 池上正樹 (講談社) ¥864
- 27 『社会の真実の見つけかた』 堤未果 (岩波書店) ¥907
- 28 『クール・ジャパン!? : 外国人が見たニッポン』 鴻上尚史 (講談社) ¥821

- 29 『格付けしあう女たち：「女子カースト」の実態』 白河桃子 (ポプラ社) ¥842
- 30 『家族という病』 下重暁子 (幻冬舎) ¥842
- 31 『「婚活」症候群』 山田昌弘ほか (ディスカヴァー・トゥエンティワン) ¥1,080
- 32 『孤独死のリアル』 結城康博 (講談社) ¥821
- 33 『生活保護から考える』 稲葉剛 (岩波書店) ¥778
- 34 『ドキュメント豪雨災害：そのとき人は何を見るか』 稲泉連 (岩波書店) ¥842
- 35 『お菓子でたどるフランス史』 池上俊一 (岩波書店) ¥950
- 36 『災害ストレス：直接被災と報道被害』 保坂隆 (角川書店) ¥777✕
- 37 『森林からのニッポン再生』 田中淳夫 (平凡社) ¥842
- 38 『イルカを食べちゃダメですか?：科学者の追い込み漁体験記』 関口雄祐 (光文社) ¥799
- 39 『ふしぎな国道』 佐藤健太郎 (講談社) ¥1,058
- 40 『ケータイのなかの欲望』 松葉仁 (文藝春秋) ¥734✕
- 41 『「かわいい」論』 四方田犬彦 (筑摩書房) ¥821
- 42 『アニメ文化外交』 櫻井孝昌 (筑摩書房) ¥864
- 43 『タモリと戦後ニッポン』 近藤正高 (講談社) ¥994
- 44 『スポーツの世界は学歴社会』 橋木俊詔ほか (PHP 研究所) ¥699✕
- 45 『ラノベのなかの現代日本：ポップ/ぼっち/ノスタルジア』 波戸岡景太 (講談社) ¥799
- 46 『愛と暴力の戦後とその後』 赤坂真理 (講談社) ¥907
- 47 『ジャガイモのきた道：文明・飢饉・戦争』 山本紀夫 (岩波書店) ¥821
- 48 『下流老人：一億総老後崩壊の衝撃』 藤田孝典 (朝日新聞出版) ¥821
- 49 『恋愛しない若者たち：コンビニ化する性とコスパ化する結婚』 牛窪恵
(ディスカヴァー・トゥエンティワン) ¥1,188
- 50 『さらば、資本主義』 佐伯啓思 (新潮社) ¥799
- 51 『京都ぎらい』 井上章一 (朝日新聞出版) ¥821
- 52 『イスラムの人はなぜ日本を尊敬するのか』 宮田律 (新潮社) ¥778
- 53 『視線がこわい』 上野玲 (集英社) ¥799
- 54 『缶詰に愛をこめて』 小泉武夫 (朝日新聞出版) ¥821
- 55 『クスクスの謎：人と人をつなげる粒パスタの魅力』 にむらじゅんこ (平凡社) ¥842

<教養・教育>

- 56 『心は前を向いている』 串崎真志 (岩波書店) ¥886
- 57 『生きていくことの意味：トランスパーソナル心理学・9つのヒント』 諸富祥彦 (PHP 研究所) ¥713
- 58 『幸せのメカニズム：実践・幸福学入門』 前野隆司 (講談社) ¥864
- 59 『「ほしい未来」は自分の手でつくる』 鈴木菜央 (星海社) ¥907
- 60 『サムライと英語』 明石康ほか (角川書店) ¥843

- 61 『ユダヤ人の教養：グローバリズム教育の三千年』 大澤武男 (筑摩書房) ¥821
- 62 『代表的日本人』 齋藤孝 (筑摩書房) ¥713※
- 63 『自立が苦手な人へ：福沢諭吉と夏目漱石に学ぶ』 長山靖生 (講談社) ¥799
- 64 『世界を知る力』 寺島実郎 (PHP 研究所) ¥788
- 65 『脳を活かす伝え方、聞き方』 茂木健一郎 (PHP 研究所) ¥821
- 66 『予習という病』 高木幹夫ほか (講談社) ¥777
- 67 『教室内 (スクール) カースト』 鈴木翔 (光文社) ¥907
- 68 『いじめの構造：なぜ人が怪物になるのか』 内藤朝雄 (講談社) ¥864
- 69 『いじめ問題をどう克服するか』 尾木直樹 (岩波書店) ¥778
- 70 『99.9%は仮説：思いこみで判断しないための考え方』 竹内薫 (光文社) ¥756
- 71 『スポーツ・インテリジェンス：オリンピックの勝敗は情報戦で決まる』 和久貴洋(NHK 出版) ¥799
- 72 『翻訳教室：はじめの一步』 鴻巣友季子 (筑摩書房) ¥886
- 73 『テレビの日本語』 加藤昌男 (岩波書店) ¥864
- 74 『人を動かす英語：イェール大学で学べるコミュニケーションの極意』 ウィリアム・ヴァンス (PHP 研究所) ¥650※
- 75 『現実脱出論』 坂口恭平 (講談社) ¥821
- 76 『砂漠の女デリリー』 ワリス・デリリー (草思社) ¥1,026
- 77 『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』 白井恭弘 (岩波書店) ¥821
- 78 『物語食の文化：美味しい話、味な知識』 北岡正三郎 (中央公論新社) ¥1,015
- 79 『日本人のしきたり：正月行事、豆まき、大安吉日、厄年...に込められた知恵と心』 飯倉晴武 (青春出版社) ¥720
- 80 『人間の分際』 曾野綾子 (幻冬舎) ¥864※
- 81 『英語化は愚民化：日本の国力が地に落ちる』 施光恒 (集英社) ¥821
- 82 『悪の力』 姜尚中 (集英社) ¥756※
- 83 『女子読みのススメ』 貴戸理恵 (岩波書店) ¥842
- 84 『「死」の教科書：なぜ人を殺してはいけないか』 産経新聞大阪社会部 (産経新聞出版) ¥842※
- 85 『和食の知られざる世界』 辻芳樹 (新潮社) ¥778

<サイエンス>

- 86 『AI の衝撃：人工知能は人類の敵か』 小林雅一 (講談社) ¥864
- 87 『データはウソをつく：科学的な社会調査の方法』 谷岡一郎 (筑摩書房) ¥842
- 88 『宇宙に外側はあるか』 松原隆彦 (光文社) ¥842
- 89 『日本一の桜』 丸谷馨 (講談社) ¥950
- 90 『沖縄美ら海水族館が日本一になった理由』 内田詮三 (光文社) ¥864
- 91 『動物を守りたい君へ』 高槻成紀 (岩波書店) ¥907

- 92 『なぜ男は女より早く死ぬのか: 生物学から見た不思議な性の世界』 若原正己
(SB クリエイティブ) ¥788
- 93 『パーソナリティ障害とは何か』 牛島定信 (講談社) ¥799
- 94 『孤独な死体 : 法医学で読み解く日本の今』 上野正彦 (ポプラ社) ¥842
- 95 『農は過去と未来をつなぐ : 田んぼから考えたこと』 宇根豊 (岩波書店) ¥907
- 96 『キュウリのトゲはなぜ消えたのか : サプライズな「野菜学」』 藤田智 (学習研究社) ¥799✕
- 97 『アマゾン源流「食」の冒険』 高野潤 (平凡社) ¥929✕
- 98 『食の世界地図』 21世紀研究会 (文藝春秋) ¥961
- 99 『植物はすごい(七不思議篇)』 田中修 (中央公論新社) ¥1,019

<ビジネス>

- 100 『二つの「競争」: 競争観をめぐる現代経済思想』 井上義朗 (講談社) ¥821
- 101 『アングラマネー : タックスヘイブンから見た世界経済入門』 藤井巖喜 (幻冬舎) ¥864
- 102 『ブラック企業 : 日本を食いつぶす妖怪』 今野晴貴 (文藝春秋) ¥832
- 103 『世界に冠たる中小企業』 黒崎誠 (講談社) ¥864
- 104 『部長の資格 : アセスメントから見たマネジメント能力の正体』 米田巖 (講談社) ¥821
- 105 『仕事と日本人』 武田晴人 (筑摩書房) ¥972
- 106 『君の働き方に未来はあるか? : 労働法の限界と、これからの雇用社会』 大内伸哉 (光文社) ¥821
- 107 『介護ビジネスの罠』 長岡美代 (講談社) ¥864
- 108 『食の戦争 : 米国の罠に落ちる日本』 鈴木宣弘 (文藝春秋) ¥767
- 109 『コンビニだけが、なぜ強い?』 吉岡秀子 (朝日新聞出版) ¥842
- 110 『お買い物の経済心理学 : 何が買い手を動かすのか』 徳田賢二 (筑摩書房) ¥842
- 111 『リッツ・カールトン至高のホスピタリティ』 高野登 (角川書店) ¥864✕
- 112 『経済大陸アフリカ : 資源、食糧問題から開発政策まで』 平野克己 (中央公論新社) ¥950